第5章 仕事とエネルギー

「力が座標の関数の場合のポテンシャルエネルギー」【課題 解答】

出題 2025/5/15

[1] 以下のように計算される.

$$U = \lambda \int (e^{-ax} - e^{-2ax}) dx = \frac{\lambda}{2a} \left(e^{-2ax} - 2e^{-ax} \right)$$
 (R5.2)

[2] まず、ポテンシャルエネルギー (R5.2) の1回微分、2回微分を計算すると、それぞれ以下のようになる.

$$U'(x) = \lambda(e^{-ax} - e^{-2ax}) = -\lambda e^{-ax}(e^{-ax} - 1)$$
(R5.3)

$$U''(x) = a\lambda(-e^{-ax} + 2e^{-2ax}) = 2a\lambda e^{-ax} \left(e^{-ax} - \frac{1}{2}\right)$$
 (R5.4)

U'(x) = 0 の解は, $e^{-ax} = 1$ より,

$$x = 0$$

である. この座標でのポテンシャルエネルギーの値は.

$$U(0) = \frac{\lambda}{a} \left(-1 + \frac{1}{2} \right) = -\frac{\lambda}{2a}$$

である. x<0 で, $e^{-ax}>1$ より U'(x)<0 となるから、単調減少になる. x>0 で, $e^{-ax}<1$ より U'(x)>0 となるから、単調増加になる.

U''(x) の解は, $e^{-ax} = \frac{1}{2}$ より,

$$x = \frac{1}{a} \log 2$$

である. この座標でのポテンシャルエネルギーの値は,

$$U\left(\frac{1}{a}\log 2\right) = \frac{\lambda}{2a} \left[\left(\frac{1}{2}\right)^2 - 1 \right] = -\frac{3\lambda}{8a}$$

である. $x<\frac{1}{a}\log 2$ で $e^{-ax}>\frac{1}{2}$ より U''(x)>0 となるから,下に凸になる. $x>\frac{1}{a}\log 2$ で $e^{-ax}<\frac{1}{2}$ より U''(x)<0 となるから,上に凸になる.

以上より、増減表は以下のようになる.

x	x < 0	x = 0	$0 < x < \frac{1}{a} \log 2$	$x = \frac{1}{a} \log 2$	$\frac{1}{a}\log 2 < x$
U'(x)	-	0	+	+	+
U''(x)	+	+	+	0	_
U(x)	\	極小点	<i>)</i>	変曲点	<i>(</i> *

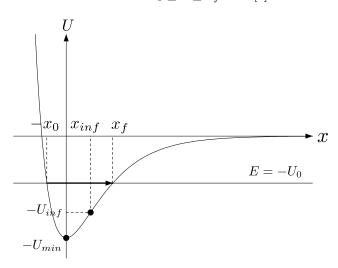
[3] U(x) の曲線と x との交点は,

$$U(x) = \frac{\lambda}{2a}e^{-ax} \left(e^{-ax} - 2\right) = 0$$

を解くと, $e^{-ax} = 2$ より, $x = -\frac{1}{a} \log 2$ となる.

 $x \to -\infty$ で $U \to \infty$ となる. $x \to \infty$ で $U \to 0$ となる.

以上のことを元に、ポテンシャルエネルギーの曲線を作図すると、下図のようになる。図で、 $-U_{min} = -\frac{\lambda}{2a}$ はポテンシャルエネルギーの極小値を、 $x_{inf} = \frac{1}{a}\log 2$ 変曲点の座標を、 $-U_{inf} = -\frac{3\lambda}{8a}$ は変曲点でのポテンシャルエネルギーを、 $x_f = -\frac{1}{a}\log(2-e^{ax_0})$ は運動の起こりうる最大の座標(問 [5] で求めるもの)を示す。又、図の矢印は、運動の起こりうる範囲 $-x_0 \le x \le x_f$ (問 [6] で求めるもの)を示す.



[4] 題意より,

$$-\frac{1}{a}\log 2 < -x_0 < 0 \tag{R5.5}$$

を満たす座標 $x=-x_0$ に、速度 0 で質点を置くことになる。この点でのポテンシャルエネルギーの値 $-U_0$ は、

$$U_0 = -\frac{\lambda}{2a} \left(e^{2ax_0} - 2e^{ax_0} \right)$$
 (R5.6)

を満たす.

不等式 (R5.5) より,

$$0 < e^{ax_0} < 2$$

となるが, $e^{ax_0} > 1$ であるから,

$$1 < e^{ax_0} < 2$$
 (R5.7)

となる. よって,

$$-1 < 1 - e^{ax_0} < 0$$

となる. これを用いると, $x = -x_0$ における力の符号は,

$$F_x(-x_0) = -\lambda e^{ax_0} (1 - e^{ax_0}) > 0$$

と定まる. 従って, $x=-x_0$ の位置に, 速度 0 で置かれた質点は, x 軸の正の向きに動き始める.

[5] 速度 0 で運動を始めるので、全エネルギーの値 E は $x=-x_0$ におけるポテンシャルエネルギーに等しく、 $E=-U_0$ となる。質点が到達しうる最大の x 座標においても速度は 0 であるから、この x 座標は、方程式 $U(x)=-U_0$ の解である。この方程式は、

$$\frac{\lambda}{2a} \left(e^{-2ax} - 2e^{-ax} \right) = -U_0$$

となる. これを整理すると,

$$e^{-2ax} - 2e^{-ax} + \frac{2a}{\lambda}U_0 = 0$$

となる. $y = e^{-ax}$ とおくと、これは 2 次方程式、

$$y^2 - 2y + \frac{2a}{\lambda}U_0 = 0$$

となるから, その解は,

$$y = 1 \pm \sqrt{1 - \frac{2a}{\lambda}U_0}$$

となる. 元の変数 x に戻す.

$$e^{-ax} = 1 \pm \sqrt{1 - \frac{2a}{\lambda}U_0}$$

$$x = -\frac{1}{a}\log\left(1 \pm \sqrt{1 - \frac{2a}{\lambda}U_0}\right)$$

ここで、根号の中は、以下のように変形される.

$$1 - \frac{2a}{\lambda}U_0 = 1 + e^{ax_0} (e^{ax_0} - 2) = (e^{ax_0} - 1)^2$$

 $e^{ax_0} - 1 > 0$ より、根号の部分は、

$$\sqrt{1 - \frac{2a}{\lambda}U_0} = e^{ax_0} - 1$$

と表される. よって, 求める x 座標は,

$$x = -\frac{1}{a} \log \left[1 \pm (e^{ax_0} - 1)\right]$$

となるから、複号が + 符号の場合、 $x = -x_0$ 、複号が - 符号の場合、

$$x = -\frac{1}{a}\log(2 - e^{ax_0})$$

となる. $x = -x_0$ は始点であるから、求める x 座標は、 - 符号の場合の、

$$x = -\frac{1}{a}\log(2 - e^{ax_0})$$

となる. 念のため、この座標の符号を確認しておく. $0<2-e^{ax_0}<1$ より、 $\log(2-e^{ax_0})<0$ 、よって、 $-\frac{1}{a}\log(2-e^{ax_0})>0$ である.

[6] 図に横の矢印で示した.